

24. 末梢性顔面神経麻痺に対する星状神経節ブロック併用高気圧酸素治療の有効性

三谷昌光 楠田憲治 八木博司
(八木病院)

末梢性顔面神経麻痺の多くは Bell 麻痺であり、その特徴ある臨床症状、所見により診断は容易であるが、治療法は未だ完全に確立したとはいえない。副腎皮質ステロイドホルモン剤、向神経ビタミン剤、消炎剤の投与並びに星状神経節ブロックを主体とした治療がなされているのが現状である。麻痺が軽快治癒するものもあるが、時に回復の兆しがないものや回復が不十分なものがあり、結果として顔の歪みを残す事となる。そこで、我々は末梢性顔面神経麻痺患者 8 例 (Ramsay-Hunt 症候群 1 例と Bell 麻痺 7 例, 19~79 歳) に高気圧酸素治療を導入し治癒率の向上をはかった。高気圧酸素治療直前 (5~30 分前) に患側の星状神経節ブロックを施行し効率を上げた。8 例全てに麻痺の改善がみられ、5 例では完治した。この治療法の有効性について論ずる。

25. 高気圧酸素療法を併用した難治性骨髄炎の治療経験

井上 治*¹*² 島袋博之*¹ 外間晶子*²
野原 敦*² 湯佐祚子*² 茨木邦夫*¹

(^{*1}琉球大学医学部整形外科 ^{*2}琉球大学医学部
附属病院高気圧治療部)

【目的】近年、抗生剤の発達により慢性化する骨髄炎は減少したが、腐骨が形成されると抗生剤が病巣に到達せず、病巣の搔爬が必要となる。HBO では殺菌効果、白血球貧食能の賦活、および血管増生や浮腫の軽減などの複合的抗感染作用が認められている。われわれは難治性骨髄炎 8 例に病巣搔爬を行い、術後は自浄作用を促す wet dressing 療法 (抗生剤含・湿ガーゼ類回充填法) に HBO と抗生剤投与を併用した治療を行っているので報告する。

【症例・方法および結果】1. 踵骨骨折後、慢性骨髄炎に陥った成人 2 例に対し、病巣搔爬を行い、HBO 併用下に wet dressing を行った後、肉芽上に海綿骨移植を行い、閉創せずに wet dressing した (Papinaud 法)。海綿骨は生着し、表面の肉芽上に植皮、治癒した。

2. 大腿骨の広範な非外傷性慢性骨髄炎の成人 4 例に対し、病巣搔爬を行い、HBO 併用下に wet dressing を行った。1 例では良性肉芽の上昇を認め、血管柄付腓骨移植を行い、一次的に閉創、治癒した。1 例では追加搔爬後、閉創し、持続洗浄にて治癒した。1 例では再・再搔爬したが治癒せず、分節状切断を施行した。1 例では肉芽の上昇に 2 カ月を要し、病巣切除を追加、筋弁を充填・閉創したが、二期的骨移植を予定している。

3. 小児の急性血行性骨髄炎 2 例では病巣搔爬後、wet dressing と HBO のみで骨欠損部は新生骨で充填され、治癒した。

【考察】難治性骨髄炎の治療として HBO は病巣搔爬と wet dressing および抗生剤投与により残存した微小感染巣を無菌化し、良性的肉芽を形成し得る重要な補助療法と考えられ、とくに Papinaud 法では HBO は移植した海綿骨への血管新生を促し、また骨床との骨癒合を促進し得る合理性がある。